

# 資質向上拡大委員会 基本方針

副理事長 米本 真太郎

資質向上拡大委員会 委員長 芝野 尚

会員拡大は通年の課題ではありますが当LOMにおいても近年大きく会員数が増加したとはいえません。伝統を継承しつつ今後の発展に向け質の高い会員拡大が必要とされています。また、現代社会における若者の参加はコミュニティーの活性化につながるとされておりますが、私たちの住み暮らすまちにおいても若者の関心や参加意欲は高いとは言えない現状であり、若者と当LOMがより密接につながる例会構築を実施する必要があります。

まずは、会員数の拡大を図るためには普段から会員全体での入会候補者の情報共有や今後の入会者にJC活動、運動の意義を伝えられる組織の成長を目指し、メンバー間で現状を毎月報告し、例会や事業にオブザーブ参加を呼びかけJCの魅力を感じてもらおう活動を、年間通して取り組んでまいります。そして、6月には講師をお招きし、リーダーシップやコミュニケーション能力の育成や会員同士のネットワーク強化が図れるメンバーの資質向上を目的とした例会の企画、設営を行います。さらに、地域の若者とコミュニティーを醸成する例会の構築では、民間の企業と連携し我々がニーズに合わせたテーマを選定することで、参加者同士の自然な交流の促進につなげ、若者一人ひとりの意見や情報交換を通じて未来のまちづくりや地域コミュニティーへの理解を高めることを体験し共有していきます。また、地域の課題に向き合うことで転出超過への現状を抑え、これからのまちのために意見交換会や、参加者の感想や考えを共有できる場を提供することにより、若者が今後の地域課題への関心を高め、自発的に考え行動できるきっかけとなる例会を実施します。

自らの言葉で思いや考えを伝えることができるようになることで、鳴門板野JCの会員数の拡大を図り、若者が住み暮らす地域の魅力に気付くことで、若者の地方離れに歯止めをかけ、現状の地域課題の解決にも繋がり未来へ向けての活動の一助となると確信します。

SDGs 4、11、17

## 【事業計画】

1. 組織を成長させる会員拡大の取り組み
2. 6月メンバーの資質向上を図る例会の企画・設営
3. 11月地域の若者とのコミュニティーを醸成する例会の企画・設営